

イベントのお知らせ

鹿ノ子グリーンパークフェスティバル ～Cycle×Recycle×Fitness～

今治市クリーンセンター「バリクリーン」の誕生により、これまでの役目を終えた旧今治クリーンセンターは解体され、芝生広場、自転車用パンプトラック、スラックライン用アンカー、バスケットゴールを含む「鹿ノ子グリーンパーク」として新たな市民の憩いの場に生まれ変わりました。

このことから、当地のお披露目イベントとして、Cycle×Recycle×Fitnessをコンセプトに「鹿ノ子グリーンパークフェスティバル」を開催しますので、多くのご来場をお待ちしています。

★新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した「リサイクルフェア(いまばり環境フェスティバル2021内催事)」は、本イベント内で開催いたします。

※例年より規模を縮小し、衣類・小物中心の品揃えになります。ご了承ください。

日時：令和4年3月27日(日)10時00分～15時30分

場所：鹿ノ子グリーンパーク
(今治市町谷甲431番地/旧今治クリーンセンター跡地)

受付：鹿ノ子グリーンパーク内
(入場受付、手指消毒、検温、来場者名簿の記載、バリクリーン見学会の整理券配布)

主催：今治市(リサイクル推進課/観光課)

協力：今治ハイトラスト株式会社、ブリヂストンサイクル株式会社、株式会社ダートフリーク、ヨツバサイクル、一般社団法人日本スラックライン連盟四国支部、松山市アクティブスポーツ協会ほか



開会式(会場:鹿ノ子グリーンパーク内)

●施設のお披露目及び各種イベントの開会

Cycle(会場:鹿ノ子グリーンパーク内)

- 子供向け自転車交通安全教室
- 子供向け自転車試乗会(ヨツバサーキット)
- パンプトラック体験会 など



Recycle(会場:バリクリーン内)

●リサイクルフェアの開催(11時00分～12時00分予定)

- ・整理券は鹿ノ子グリーンパーク内で10時30分から先着順に配布します。
- ・新型コロナウイルス感染防止のため、整理券の順番で11時00分から30名、11時15分から30名をリサイクルフェア会場へ案内します。なお、11時30分以降は整理券がなくともフリーで入場できます。
- ・先着順での会場案内とさせていただきますので、商品が無いなどの苦情等は一切受け付けません。

●バリクリーン見学会の開催(1回約30分)

- ・整理券は受付(鹿ノ子グリーンパーク内)で配布します。
- 1回目:11時00分～ 2回目:14時00分～ ※各回先着20名

Fitness

- スラックライン体験会
- バスケットシュートチャレンジ



その他

- キッチンカー(6台)
- ごみの分別指導&相談会 など

駐車場情報(鹿ノ子グラウンドまでの動線は一方通行とします)

- ・鹿ノ子グラウンド
- ※当該グラウンドが満車になり次第、バリクリーン敷地内を駐車場としてご案内します。

ご来場時の注意事項

- ・来場時は必ずマスクを着用ください。また、発熱等の症状がある方は来場をお控えください。
- ・ペット同伴不可

新型コロナウイルスの感染状況により、中止する場合があります。ご了承ください。

いまばりリサイクル通信

【保存版】



令和4年(2022)3月1日発行 No.43

発行 今治市市民環境部リサイクル推進課

TEL0898-47-5374(直通) FAX0898-48-3942



ごみ分別アプリ
「さんあ〜る」



注意

充電式電池(リチウムイオン電池など)が内蔵されている電気製品は、絶対に指定ごみ袋に入れしないでください!!

注意

現在、バリクリーン(今治市クリーンセンター)において、充電式電池が原因と思われる火災が頻発しております。充電式電池の処分は、取り外したのち、資源収集の際に有害ごみ「電池」のコンテナに出していただくか、取り外しができないものについては、「小型家電回収ボックス」に電池がついているまま入れていただくか、リサイクル推進課までご持参いただきますようお願いいたします。



各充電式電池は、上記のリサイクルマークが表示されています。

■充電式電池が内蔵されている電気製品の捨て方■

【充電式電池が使われている一般的な製品の例】



充電式電池が外せるもの

充電式電池が外せないもの

外した充電式電池は、資源の日の有害ごみ「電池」のコンテナに入れる



指定ごみ袋に入れられない!

小型家電回収ボックスに電池がついたまま入れるか、リサイクル推進課(バリクリーン管理棟2階)まで持参



搬入口サイズ
縦15cm×横25cm

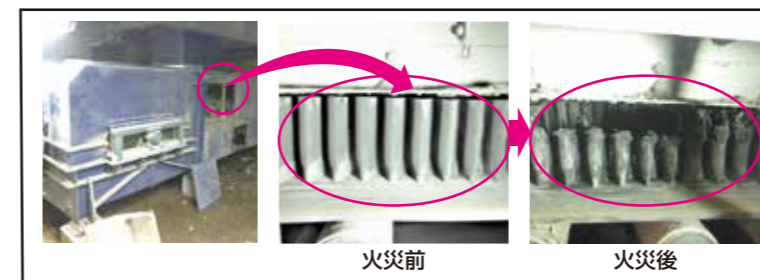
※設置場所は、「家庭ごみの分別ガイドブック」等をご参照ください。

■充電式電池(リチウムイオン電池など)による発火の様子■

電池が内蔵されたまま指定ごみ袋に入れて出されますと、破碎の際、爆発的な燃焼を起こしてしまいます。大変危険ですので、絶対に、指定ごみ袋に入れず、適切な処分をお願いします。

コンベア火災

発火した充電式電池



火災前

火災後



【電子タバコ】

【ハンディクリーナー】

発火前

発火後

災害が起きた時のごみの分別と出し方 (part2)

仮置場って何なの？



災害ごみを一時的に保管しておく場所のこと

地震、豪雨、台風などの大規模災害が発生した場合、想像を絶する量の災害ごみが発生し、通常どおりの処理が追いつきません。

仮置場は、生活環境の確保・復旧などのため、災害ごみを一時的に集積し、分別・保管しておく場所であり、道路啓開や倒壊建築物の撤去のためにも必要となります。

仮置場の設置場所については、発災後、災害の状況に応じて市民の皆さまにお知らせしますので、**市が指定する仮置場に災害ごみを持ち込むようにしてください。**

※災害ごみを普段のごみ集積所や道路上に出されると、緊急車両やごみ収集車などの通行の妨げとなります。

仮置場ではどのように分別するの？



次のような分別を想定しています。

【分別品目】

- ①可燃物(木製家具、汚れた衣類など)
- ②不燃物(ガラス、陶磁器、びん類)
- ③がれき類(コンクリート殻、瓦など)
- ④金属くず(金属製家具、自転車など)
- ⑤木くず(柱材、角材など)
- ⑥畳・マットレス・ソファ
- ⑦廃家電(テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン)
- ⑧小型家電(電子レンジ、扇風機など)
- ⑨石膏ボード・スレート
- ⑩危険物(消火器、バッテリーなど)

※災害の種類により分別方法が変わることがあります。

仮置場レイアウトイメージ



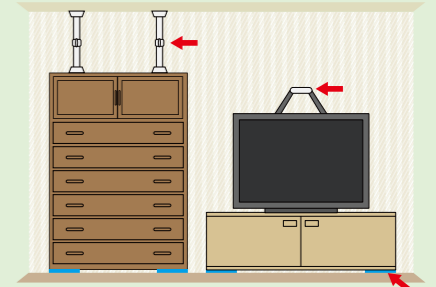
※写真出典：環境省「災害廃棄物対策フォトチャンネル」

日ごろからこういったことを備えておくといいの？



● 家具の固定

家具や電化製品を転倒防止器具や金具などで固定して倒れにくくしておくことで、身を守るだけでなく、破損を防ぎ災害ごみを出さないようにできます。



● 不要なものの整理

災害が起こった時、家の中で壊れた家具や電化製品が散乱すると、ごみの片付けや処分に追われてしまいます。日ごろから不要になったものを整理しておけば、災害ごみを減らすことにつながります。



● 携帯トイレ等の用意

大規模災害時に上下水道の損壊が生じると、水洗トイレが使用できなくなります。災害時に備えて、携帯トイレ等を備蓄しておいてください。

■ 携帯トイレ

水が出なくなったり、排水できなくなった便器等に被せて使用する便袋(し尿をためる袋)のことです。便袋の中に吸水シートが入っているタイプや、凝固剤を入れるタイプがあります。使用後は空気を抜いて袋を縛り、密閉できる容器に保管し、**通常の燃やせるごみ**として出してください。

トイレ回数は、1人1日5回と想定し、**家族で最低3日(推奨7日)分**備蓄しましょう。



■ 簡易トイレ

段ボールやアルミニウム合金等で作られた便器に携帯トイレ等をセットして使用します。電気を必要とするタイプと、必要としないタイプがあります。電気を必要とするタイプは、便袋を機械的に密封します。



※写真出典：NPO法人日本トイレ研究所「災害用トイレガイドWeb」